



# さくら並木だより

## 第4号

発行：相模原市  
平成23年  
10月

### 第4回、第5回検討会を8月に開催しました

市役所周辺の桜並木の維持管理の在り方について、学識経験者や市民の皆様からご意見を伺う検討会の第4回を8月11日(木)に、続いて第5回を8月23日(火)に開催しました。

第4回は、昨年度実施した市道市役所前通の桜並木の診断結果に基づく危険木の伐採結果等、第5回は、更新方法等について、意見交換を行いました。本号では、第4回検討会について報告いたします。

### 市道市役所前通の街路樹伐採について

#### ●診断結果と伐採樹木

相模原市では、昨年度、市道市役所前通の桜並木 313 本に点検・外観診断を行い、そのうち、内部に腐朽があると思われる 47 本について精密診断を実施いたしました。

その結果、9本の街路樹について、倒木の危険性があることが分かりました。

そのため、今年の6月～7月にかけて、倒木による事故を未然に防止するため伐採いたしました。伐採した街路樹の断面を見てみると、以下のような状況でした。

健全度	本数	比率	備考
健全	97本	31.1%	
健全に近い	134本	42.8%	
おおむね健全	42本	13.4%	
不健全に近い	31本	9.9%	
不健全	7本	2.2%	今回伐採
きわめて不健全	2本	0.6%	今回伐採
合計	313本	100.0%	





倒木の危険性がある街路樹として、2月に市道相模原横山で8本、6月末から7月初めにかけて、市道市役所前通で9本の街路樹を伐採いたしました。伐採後の更新については、今後、検討会で検討を進めてまいります。

### 桜並木全体の現状や問題点について

検討会では、これまでは1本ずつの街路樹を見てきましたが、今後の対応を考える上で、市道市役所前通及び市道相模原横山の桜並木全体の現状や問題点を、診断結果や伐採状況から総合的に考える必要があります。

- 「樹勢」については、全体的にとっても良好で、都市樹木で60年生のソメイヨシノとすればかなり良い状態です。伐採した街路樹も腐朽などの大きな問題を抱えていましたが、樹勢はあまり悪くはありませんでした。
- 「樹形」については、市道市役所前通ではほとんど無剪定のため、都市樹木としてはかなり良い状態です。しかし高密度のため、隣接木による被圧で枝枯れや枝の変形しているものも多かったです。
- 「空洞」「樹皮欠損」「腐朽」「キノコ」など大きな問題のある樹木は、今後要注意ですが、全体的にはさほど多くない状況でしたが、倒木の可能性があるものについては伐採した後、「不健全に近い」街路樹は市道市役所前通及び市道相模原横山で約40本あります。
- 「傾斜」では、被圧から逃げるため横に伸びるなど、バランスが悪い樹木は、容易に倒伏するので、要注意です。
- 「根上がり」は、全体的に多少見られる程度です。60年生の桜として、あまり根上がりを起こしていないのは、この地区の土壌条件が良いため、地表近くに根系が分布せず、問題を起こしていない可能性があります。
- 「被圧」では、街路樹の間が狭いため、隣接木との被圧による競合が激しく、勝ち組と負け組が明らかに分かる状態です。
- 「若木の補植」がされていますが、天空光の入る場所では、上や横など、光の入る方に伸長しているが、天空光の入らない場所では健全には生育していない。
- 「密度」が高く「間伐」が必要な状態である。若木は高密度で、成木になると低密度になるのが本来形である。